

令和6年度 教育課程特例校実施状況(自己評価・学校関係者評価)

1. 教育課程特別校としての取り組み

本校では様々なバックグラウンドを持った生徒たちを受け入れており、多数の帰国子女や英語が堪能な生徒が在学している。中学高校の6年間を通して、彼らに数学・理科・社会の3教科を英語で教えるイマージョン教育を行うことで英語力のさらなる進捗を図り、多様な教育を実践していくために特別な教育課程を編成している。

2. 学校評価(自己評価並びに学校関係者評価)

	自己評価		学校関係者評価	
	評価	現状・課題・反省	総合評価	意見・要望
指導体制	A	<p>本校には35名の外国人教員がフルタイムで勤務しており、日本人教員と同様に教育活動に取り組んでいる。本校のイマージョン教育においては、外国人教員が同じ教科の教員と連携しながら指導案や試験などの作成を行っており、質の高いイマージョン教育が実施できていると考える。各教科には日本人だけでなく、外国人の教科主任も設置しており、それぞれがリーダーシップを発揮して、本校独自の教育を実践している。</p> <p>2021年度より高校International Courseにおいては、西オーストラリア州の教育プログラム(WACE)を導入し、本校の科目とWACEの科目の両方を履修することで日本とオーストラリア2か国の卒業取得が取得できるDual Diploma Programを実施している。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なバックグラウンドを持つクラス環境と授業内容を通して、グローバルな視点を養うことが出来て、子供が喜んでいる。 ・ボランティア活動を通して、地球市民として地域に貢献する機会を得ることができ、有意義な学びとなっている。 ・生徒がリーダーシップをとる機会を通して、協調性やコミュニケーション能力を高めることができ、自律的・自立的な学習者となることができている。 ・インターナショナルコースでは、海外の歴史や地理に重きを置いているので、日本についても深く学べるともっと良い。 ・英語初級者だった娘が、バディーシステムを通して英語上級者と英会話の練習をし、英検1級を取得できたことを誇りに思う。 ・WACEプログラムを受けているので、オーストラリアへの大学進学へのチャンスが広がり、大変満足している。 ・海外大学への情報が豊富なため、国内だけでなく、海外への大学進路指導も充実している。 ・教師が生徒の背中を押し、挑戦を恐れず学び続けられるように手厚くサポートしてくれる。 ・WACEプログラムを受講すると日本の教育だけでなく、海外の教育を受けることもでき、2か国の卒業証書を取得することができるので、一挙両得でとてもいい。 ・教師が奥深い授業を提供し、生徒の学びの目標を高く設定している。 ・信頼できる教師が多く、生徒の発展に貢献し、大学への進路指導がしっかりしている。 ・海外大学へ進学した息子が、三田での基礎学習がしっかりできていたので、大学の講義が簡単だったと言っていた。
授業内容	A	<p>授業内容に関しては、学習指導要領をベースにししながら外国の教科書なども使用し、ローカルとグローバル両方の視野を持てるように指導をしている。例えば、歴史の授業などでは、ある歴史的事項について日本の教科書に書いてある内容とアメリカの教科書に書いてある内容を比較検討して、多角的に物事を捉える力や論理的・批判的な思考力を涵養するように心がけている。</p> <p>主要教科を英語で行うことによって英語力の伸長だけではなく、グローバルな思考を養うことが可能になり、大変意義深いと考えている。アクティブラーニングやPBLにも力を入れている。</p>		
生徒への対応	A	<p>HRにおいては、外国人教員と日本人教員がペアになって担任業務を行っており、生徒それぞれの個性やバックグラウンドに配慮しながらHR運営を行っている。インターナショナルHRでは、帰国子女の生徒と英語初級者の生徒がバディーシステムを通して、英会話の練習や日本の学校生活への理解を深める手助けをしている。</p> <p>授業においては、生徒主体のインタラクティブな授業設計を心がけており、生徒自身が自己を表現できる機会を多く与えている。</p> <p>国内外の大学進学指導に関して、手厚くサポートしている。</p>		
情報提供	A	<p>パンフレットや学校説明会等において学内外に本校のイマージョン教育の実践状況を共有している。</p> <p>保護者には三者面談等を通して授業の内容や方針などを説明している。また、中・2・3の保護者対象に、高校進学に向けてコース内容の説明会を開催している。</p> <p>授業の評価方法などは学園HPにおいて各授業のシラバスとともに示している。</p>		
効果	A	<p>定期試験や課題などの評価材料に加えて、PSATやTOEFL ITPなどの外部試験を活用しながら生徒の学力の進捗を測っている。多くの生徒に英語力の向上だけでなく、思考力やコミュニケーション能力などのアカデミックスキルの向上が見て取れる。</p> <p>WACEのATAR試験では優秀な成績を修め、2023年度、WACEコース全員が日本とオーストラリア2か国で卒業証書を取得した。</p>		
その他				

評価点

A: 評価できる B: やや評価できる C: やや評価できない D: 評価できない